

令和6年度 第1回 奥越地域医療構想調整会議	資料2
令和6年7月23日（火）19時～	

地域医療に関する市町の取組状況について

【第7次福井県医療計画策定時の二次医療圏】

区分	人口(人) 平成29年10月	面積(km ²)	平成28年11月 福井県患者調査		構成市町
			流出率	流入率	
福井・坂井	401,897	957	2.7%	20.8%	福井市、坂井市、 あわら市、永平寺町
奥越	55,595	1,126	38.0%	2.8%	大野市、勝山市
丹南	183,336	1,007	25.7%	6.3%	鯖江市、越前市、池田町、 南越前町、越前町
嶺南	137,501	1,100	16.5%	9.2%	敦賀市、小浜市、美浜町、 高浜町、おおい町、若狭町
合計	778,329	4,190			9市8町

見直し検討基準（厚労省 医療計画作成指針 抜粋）

- 人口規模が20万人未満の二次医療圏は、流入患者割合20%未満であり、流出患者割合20%以上である場合、見直しを検討
- 見直しを検討する際は、二次医療圏の面積や基幹となる病院までのアクセスの時間等も考慮
- 設定を変更しない場合、その理由を医療計画に明記
- 地域医療構想の区域に二次医療圏を合わせることが適当
- 5疾病・6事業・在宅医療の圏域については、患者の移動状況や地域の医療資源等の実情に応じて弾力的に設定



【第8次福井県医療計画策定時】

区分	人口(人) 令和4年10月	面積(km ²)	平成28年11月 福井県患者調査		令和4年11月 福井県患者調査(参考値)		構成市町
			流出率	流入率	流出率	流入率	
福井・坂井	391,290	957	2.7%	20.8%	3.0%	20.6%	福井市、坂井市、 あわら市、永平寺町
奥越	51,411	1,126	38.0%	2.8%	42.3%	4.2%	大野市、勝山市
丹南	178,895	1,007	25.7%	6.3%	28.6%	8.2%	鯖江市、越前市、池田町、 南越前町、越前町
嶺南	131,380	1,100	16.5%	9.2%	17.5%	10.6%	敦賀市、小浜市、美浜町、 高浜町、おおい町、若狭町
合計	752,976	4,190					9市8町

- 本県では医療計画策定年度の前年度に患者調査を実施
- 国の患者調査は、毎年度実施しているものの、本県の患者調査と同様の比較が困難
(流出先の医療圏、流入元の医療圏など詳細がわからない。)
- 国も二次医療圏ごとに定める基準病床数の算出式に平成28年以降の数値を採用(病床利用率、退院率など)
- これらのことから、第8次医療計画も平成28年11月に本県が実施した患者調査のデータを用いることとする。
(令和4年11月に実施した調査でも傾向は変わらない。)
- 今回の見直し検討対象も奥越医療圏と丹南医療圏

- 二次医療圏の広域化（奥越医療圏、丹南医療圏を福井・坂井医療圏と統合することを想定）には、今後のさらなる人口減少、高齢化の進展などを見据え、より広域的なエリア内で患者の受療行動に応じた機能分化、連携の在り方を検討することができるなどのメリットがあるものの、関係市町の考え方や地域医療構想調整会議における議論を踏まえると、現行の二次医療圏維持を希望する意見が多い状況
- このことから、第8次医療計画においては、現行の二次医療圏を維持することとし、県だけではなく、関係市町においても患者流出の防止に向けたさらなる対策を検討・充実
- ただし、医療計画作成指針（厚生労働省）において、5疾病・6事業および在宅医療における圏域については医療資源が限られていることもあり、弾力的に設定が可能とされていることから、この点は、患者の移動状況や地域の医療資源等の実情に応じ、各専門部会で議論

地域医療に関する市町の取組状況の確認

- 奥越、丹南医療圏については、関係市町において患者流出を防ぐ取組を実施
- 第8次福井県医療計画においては、実施状況や効果について、毎年度、地域医療構想調整会議で確認を行い、必要な場合は取組の拡充や新たな取組の実施を協議するとしている。

令和7年度患者調査の実施について

- 令和8年度は、第8次福井県医療計画の中間見直し、新たな地域医療構想の検討が必要となるため、令和7年度に二次医療圏の入院患者の流出入に関する患者調査を実施したい。
- 令和4年度に実施した患者調査はコロナ感染拡大の影響を受けており、あらためてデータ収集が必要と考えている。
- 第8次福井県医療計画の二次医療圏見直しの議論において、患者調査の実施方法について、紹介・逆紹介による入院実態を把握すべき、通例の11月の調査に加え、入院患者が多い冬期にも実施すべき、といったご意見をいただいている。
- ご意見を踏まえ、令和7年度実施の患者調査については、①紹介・逆紹介の有無に関する調査項目を新設し、②通例の11月と冬期の2回調査を実施したいと考えている。

地域医療に関する市町の取組（大野市）

第8次医療計画における取組	実施状況、今後の予定（6月末時点）
<p>（住民への啓発活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> • かかりつけ医の必要性やメリットに関するチラシを作成し、医療機関や薬局、公共機関、スーパー、金融機関、温浴施設等に設置し、普及啓発を強化 • 福井県版エンディングノート「つぐみ」を配布し、ACPの啓発を強化 	<ul style="list-style-type: none"> • かかりつけ医の必要性等について記載したチラシを作成済み。設置先について調整中。医療機関情報冊子が完成し、市内医療機関等に配布する時期にあわせて設置の予定（7月末～8月上旬目途） • 「つぐみ」の配布とACPの普及啓発について、在宅医療コーディネーターによるミニ講座・窓口での個別相談併せて115冊（5月末現在） • 在宅医療・介護連携市民公開講座「大野で生きる」開催予定（8月3日）講師：滋賀県東近江市永源寺診療所長 花戸貴司医師
<p>（医療機関への働きかけ）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 福井市内の総合病院の地域医療連携室等に医療情報冊子を持参し、回復期・慢性期・看取り期に市内医療機関が対応可能な医療処置を直接説明することで、市内医療機関への転院等を促進 	<ul style="list-style-type: none"> • 市内医療機関の令和6年度版医療情報冊子を作成中。7月中には完成の見込み • 冊子完成後、順次福井市内の総合病院に説明のため訪問を行う予定（8月～9月目途）
<p>（新たな体制づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大野市医師会と連携し、市内医療機関での受診促進に繋げる取組を進めるため、情報共有や意見交換の機会を持つ。 • 在宅医療、介護連携推進事業（地域包括ケアネットワーク勉強会等）やケアマネージャー会議において、在宅療養者の医療支援に関する課題や対策について協議。また多職種が連携した研修を開催し、在宅ケアを支える人材を育成 • 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施により、かかりつけ医の普及啓発を強化し、市内医療機関への受診を促進 • 和泉診療所でのオンライン診療ができる利点を活かし、例えば市外に通院する市民が、市内での診療を受けられる体制を整備 	<ul style="list-style-type: none"> • 在宅医療・介護連携推進事業の中で、多職種を対象とした地域包括ケアネットワーク勉強会を2回開催予定（時期未定） • 医療・介護関係職種の意見を取り入れ、課題解決に向けた研修を企画するため、関係職種の代表者による「地域医療推進連絡会」を年4回開催予定（うち1回は5月に実施済み） • 6月から高齢者サロンに出向き、フレイル予防に関する健康教育と健康相談を行い、気がかりな人は、必要に応じて市内医療機関の受診に繋ぐ。 • 糖尿病性腎症の重症化予防対策として健康講座や保健指導を6月から実施しており、治療中断者などに市内医療機関への受診勧奨を行う。 • 健康状態不明者を抽出し、7月からアセスメントを実施予定。結果に応じて、市内医療機関への受診勧奨を行う。 • 和泉診療所でのオンライン診療は、市HPや地区公民館報にて周知。市外に通勤するなど市内医療機関に通院しにくい働き世代のニーズに応じた診療を行う。

地域医療に関する市町の取組（勝山市）

第8次医療計画における取組	実施状況、今後の予定（6月末時点）
<p>（住民への啓発活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> • かかりつけ医を持つことを推進するため、市内医療機関での個別健診を勧奨 	<ul style="list-style-type: none"> • 市内4医療機関で個別健診を実施中（R6.6～R7.2）。健診の案内通知において、医療機関への受診勧奨を行なっている。今後、健診受診の再勧奨通知においても、市内医療機関での受診を勧奨する予定 • 健診結果通知に、かかりつけ医の推進に関するリーフレットを同封し、検査結果に応じて、市内医療機関への受診を勧めている。 • 地区サロン等において、かかりつけ医の推進やACPIに関する講座を実施。福井県版エンディングノート「つぐみ」を講座や窓口で配布。
<p>（医療機関への働きかけ）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 市内での個別健診を推進するため、医療機関に健診の受け入れを増やすことについて協力依頼 • 福井地区の医療機関に入院している患者について、状態が安定してきた時には地元医療機関につなげるため、福井市内の総合病院の地域医療連携室等に市内医療機関やかかりつけ医の推進について周知 	<ul style="list-style-type: none"> • 市内医療機関に個別健診の受け入れを増やすことへの協力依頼を実施（R6.4月） • 今後、予防接種等で医療機関を受診する人に対して、市内医療機関での個別健診受診を周知する働きかけを検討 • 市外の総合病院の地域医療連携室等に、退院時に地元の医療機関へ紹介することを周知
<p>（新たな体制づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 医療・介護関係者が集まる場において、在宅の要介護者の医療のかかり方について話合いの機会を持つ。 • ケアマネージャー等にかかりつけ医について周知し、高齢者等の適切な医療のかかり方を支援してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域包括ケア推進協議会を開催し、医療・介護関係者と在宅医療に関する意見交換を行なう。（R6.6月実施、2回/年開催予定） • 医療・介護の関係者等を対象に、在宅医療に関して多職種連携研修会を実施予定（時期未定） • 居宅介護支援事業所代表者会議において、市内にかかりつけ医を持つことについて周知するとともに、適切に受診できるよう支援を依頼する（R6.7月）

地域医療に関する市町の取組（鯖江市）

第8次医療計画における取組	実施状況、今後の予定（6月末時点）
<p>（住民への啓発活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地元の医療機関における健康管理推進のため、若いうちから「かかりつけ医」をもち、予防接種や生活習慣病予防・治療、介護予防など生涯を通じた健康管理の啓発強化（健康づくり推進員、封筒印刷、ラジオ等） • 本人の意思決定のもと、地域で安心して医療や介護の支援を受けることで看取りができるようACPを啓発 	<ul style="list-style-type: none"> • かかりつけ医を持つことについて、地区健康づくり推進員連絡会（9～10月）にて説明し啓発依頼を実施予定 • 市広報（11月号）やサロン巡回にてACPについてパンフレットにて周知。また、ACPをテーマにした講演会を昨年12月に開催 • 今後も、かかりつけ医をもつことを推進することを含めた在宅ケアに関する講演会を実施予定
<p>（医療機関への働きかけ）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地元医療機関への受診促進を図るため、福井市内の総合病院の地域連携室等に医療機関等の医療情報や住所地の高齢者を担当する地域包括支援センターの情報を提供 • 患者の急性期治療後、鯖江市内の医療機関への転院や在宅生活での医療・介護が必要な患者支援の調整等を地域包括支援センターとともに連携し実施 	<ul style="list-style-type: none"> • 市内医療機関等の医療情報をとりまとめ、地域包括支援センターの情報と併せて、昨年12月に福井市内の地域連携室へ情報提供。今後も、情報更新した際には、地域連携室へ情報提供 • 地域連携室と地域包括支援センターが、退院後在宅生活に戻る際に、介護や支援が必要と思われる患者について、その都度連携・調整
<p>（新たな体制づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 在宅高齢者の医療・介護ニーズに対応するため、効率的・効果的に提供できる体制確保や連携強化（医療機関で独居や認知症など気がかりな高齢者に関して地域包括支援センターとの情報共有を行う体制づくり等） 	<ul style="list-style-type: none"> • 鯖江市医師会理事会（令和5年12月12日）において、二次医療圏を維持するための取組内容（左記）の説明を実施するとともに、今後の地域医療を守る取組について、協議する場を設けることを依頼し、承諾を得たが、能登地震発生対応等あり、実現には至っていない。 • 在宅医療・介護連携推進協議会の会議にて、市内医療機関へ気がかりな高齢者に関して地域包括支援センターへの情報提供を依頼（10月、3月）

地域医療に関する市町の取組（越前市）

第8次医療計画における取組	実施状況、今後の予定（6月末時点）
<p>（住民への啓発活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> • かかりつけ医を持つことを推奨するため、ホームページや広報にて周知を図る。 • 各地区における健康講座や健康まつり等で新たにかかりつけ医に関する普及啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> • 市内医療機関における健康管理推進のため、若いうちから「かかりつけ医」をもち、予防接種や生活習慣病予防・治療、介護予防など生涯を通じた健康管理の啓発を強化
<p>（医療機関への働きかけ）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域包括ケアシステムのさらなる推進のため、日常生活圏域ごとに配置している在宅コーディネート医との連携を強化し、在宅医療や看取りの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> • 在宅医療、介護連携推進事業として、県が実施した「令和5年度在宅医療・介護連携推進実態調査」の結果を元に、令和7年2月頃、本市の在宅コーディネート医と多職種を交えた連携会議を予定
<p>（新たな体制づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 在宅医療に積極的な医療機関と介護事業所等との会議を新たに実施 • 保健と介護の一体的実施に取り組む（越前市モデルの構築に努める。） 	<ul style="list-style-type: none"> • 上記の連携会議と同じ。 • 一体的実施（高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施）において、健診、介護、医療なしなし群等の実態を始めとする本市の健康課題を地域包括支援センターと共に学ぶことで、地域包括支援センターが早期の医療受診の大切さを理解しつつある現状。生活習慣病予防・治療等の医療的視点と介護予防の視点から、フレイル予防に対する早期対応の幅が広がっている。今年度は、下肢筋力評価測定を取り入れ、測定者に数値を示してフレイル状態の有無を伝え、フレイル状態の掘起こしを図る。商業施設等を会場とし、中高年層をターゲットに7月から市内10箇所で開催 • 医師等の確保について国県へ要望 • 救急体制の維持について関係機関と協議予定

地域医療に関する市町の取組（南越前町）

第8次医療計画における取組	実施状況、今後の予定（6月末時点）
<p>（住民への啓発活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内医療機関でかかりつけ医を持つことを推進するため、住民が集まる各種事業において、健康管理と適切な医療に欠かせない、かかりつけ医の必要性について普及啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 一部の医療機関の窓口において、かかりつけ医のパンフレットを配布し、町民への周知・啓発を実施 地域ふれあいサロンにて、エンディングノート（つぐみ）を配布し、かかりつけ医の必要性について説明を加える等の活動を実施 国保直診の医療機関において、令和6年9月に予定している健康に関する講演会と中学生向け医療の職場体験において、かかりつけ医の必要性について普及啓発を実施予定 今後、住民が集まる各種事業や訪問活動において、かかりつけ医の必要性について普及啓発を実施（時期未定）
<p>（医療機関への働きかけ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内のかかりつけ医での受療継続のため、2次救急3次救急に相当する疾患（脳卒中や大きな怪我など）で福井市内の医療機関を受診した町民が、回復期になった際、町内の医療機関において医療が継続できるよう総合病院の地域医療連携室との連携を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年2月に、総合病院等の退院後、町内のかかりつけ医にて治療が継続できるように、総合病院等の地域連携室との連携強化の重要性について、町内医療機関と情報共有 「福井県入退院支援ルール」の各種シート等を活用し、ケアマネ等から病院へ情報提供するほか、退院時のサマリーや地域医療連携室から地域包括支援センターへの情報提供を受ける等、連携をはかっている。
<p>（新たな体制づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の医療・介護需要に対応できるよう、在宅医療を含め地域の医療提供体制について、町内の医療機関の代表者が参画する協議の場を新たに設置 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年2月に町内の医療機関の代表者と町による情報交換会を実施 令和6年4月に「第1回 南越前町の地域医療体制を考える会」を実施 令和6年7月・10月・令和7年2月頃に「第2～4回 南越前町の地域医療体制を考える会」を実施予定

二次医療圏を維持するための取組（越前町）

第8次医療計画における取組	実施状況、今後の予定（6月末時点）
<p>（住民への啓発活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診、健康づくり事業、高齢者が集う「つるかめ教室」時など様々な年齢層を対象として、パンフレットなどを活用し「かかりつけ医の大切さ」、「上手な医療のかかり方」について啓発 「かかりつけ医」や「上手な医療のかかり方」などについて、ホームページに掲載して周知 医師会と共に行っている健康イベントで「かかりつけ医」や「上手な医療のかかり方」について啓発 	<ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医の必要性やメリット、在宅医療について書かれたリーフレットと「在宅医療&介護相談窓口一覧」を6月に作成し、医療機関や薬局・公共機関、温浴施設等に設置し、普及啓発を強化 「在宅療養の出前講座」をホームページ等で周知し、「上手な医療のかかり方」などについて、普及啓発を図る。 福井県版エンディングノート「つぐみ」を配布し、ACPの啓発を強化 医師会と共に行う健康イベント(10月26日)にて「在宅医療」「かかりつけ医の大切さ」のリーフレットを配布、またパネルを設置し啓発
<p>（医療機関への働きかけ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 町として整備する「サービス付き高齢者向け住宅」の活用を図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 町外の総合病院等で急性期治療を受けた患者のリハビリ転院や在宅生活での医療・介護が必要な患者支援の調整等を地域包括支援センターとともに連携し実施 サービス付き高齢者向け住宅「海土里」が越前町織田病院の付帯施設として完成。病院退院後の自宅での生活困難な回復期の高齢者に対し、患者の自宅生活へのスムーズな復帰を支援
<p>（新たな体制づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療と介護を切れ目なく町内で提供するため、医療機関や介護関係者との連携を強化する場を新たに設置 検診や予防接種は町内で受診を勧奨するなど、健康管理から治療までを町内で行うきっかけづくりを実施 検診を受けていない町民などの介護予防・早期予防のため、地域の関係機関との連携や庁内の連携を強化 	<ul style="list-style-type: none"> 医療と介護を切れ目なく町内で提供するため「丹生郡在宅医療介護連携協議会」を年に4回開催し、在宅医療・介護連携に必要な課題の抽出及び対応策について検討 在宅医療・介護連携推進事業において「顔の見える多職種連携研修会」を12月に開催し、在宅ケアを支える人材を育成 保健と介護の一体的実施に取り組む（ハイリスクアプローチ・ポピュレーションアプローチ）